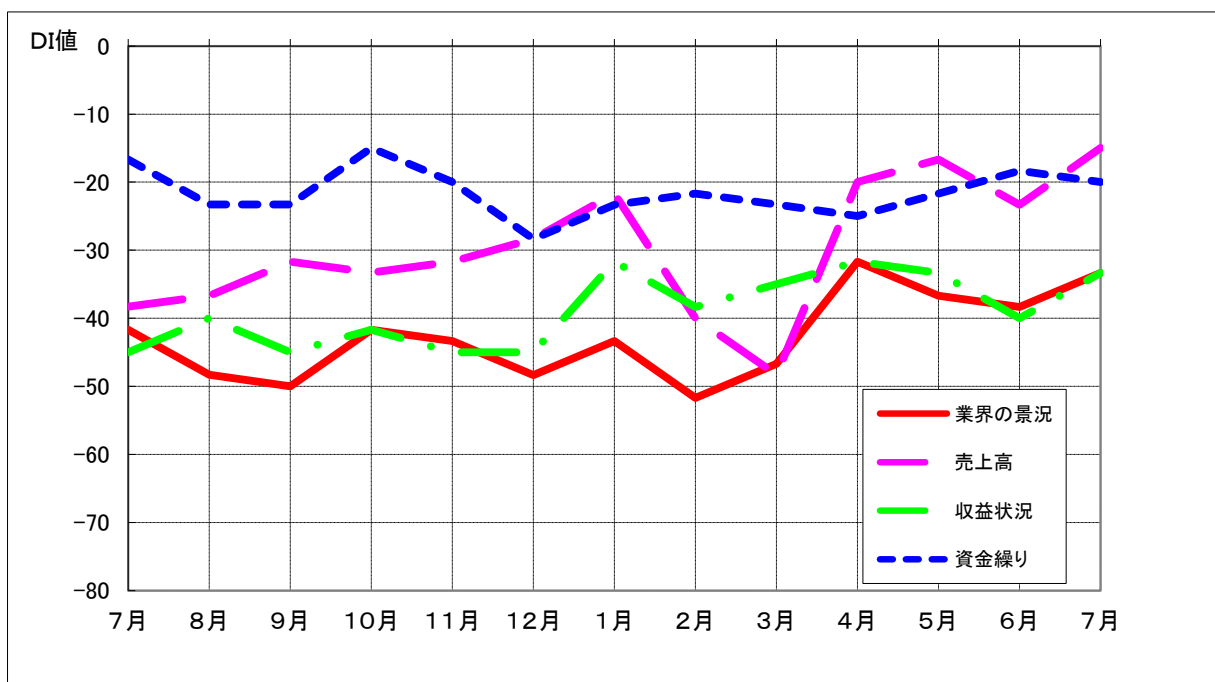


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成23年7月～平成24年7月

単位:ポイント



	H23						H24						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
業界の景況	-41.7	-48.3	-50.0	-41.7	-43.3	-48.3	-43.3	-51.7	-46.7	-31.7	-36.7	-38.3	-33.3
売上高	-38.3	-36.7	-31.7	-33.3	-31.7	-28.3	-21.7	-40.0	-48.3	-20.0	-16.7	-23.3	-15.0
収益状況	-45.0	-40.0	-45.0	-41.7	-45.0	-45.0	-31.7	-38.3	-35.0	-31.7	-33.3	-40.0	-33.3
資金繰り	-16.7	-23.3	-23.3	-15.0	-20.0	-28.3	-23.3	-21.7	-23.3	-25.0	-21.7	-18.3	-20.0

○7月のDI値は前年同月に比べ、3項目が改善した。「業界の景況」DI値は8.4ポイント、「売上高」DI値は23.3ポイント、「収益状況」DI値は11.7ポイントとそれぞれ改善した。一方、「資金繰り」DI値は3.3ポイント悪化した。また、前月比で見ると、「業界の景況」は5ポイント、「売上高」は8.3ポイント、「収益状況」は6.7ポイントそれぞれ改善し、「資金繰り」は1.7ポイント悪化した。製造業においては、原料価格の上昇や受注の減少、非製造業においては、一部業種で売上高が増加したものの、依然として需要の減少傾向が続いている。総じて、円高等の影響により、経営環境が厳しいという声が多い。

○組合の特記事項からは、製造業では、食料品製造業からは、原料価格が上昇傾向にあり経営が厳しいという声、機械器具製造業からは、組合員企業の取引先において円高による売上減、利益減のため、その影響が組合員企業にも及んでいるという声が出ている。一方、建具製造業からは、夏休みの学校改修工事が多く発注され、活況を呈してきたという声も出ている。非製造業では、商店街からは、売上・収益ともに前月より改善したとする声がある一方、猛暑・真夏日の連続で、大幅な客数の減少となったという声、自動車整備業からは、エコカー補助金・減税施策終了後の反動を懸念する声が出ている。また、行政庁・中央会に対する要望として、中小零細業者への優遇税制、補助金支援や、LED照明の普及等、節電に対する助成を望む声があった。